

インテリア金物の BIDOOR（ビドー）が 室内扉とマッチしやすいドア部品を発売

弊社(株式会社ビドー 大阪市東成区大今里西 1-25-4、代表取締役 長野孝豊)は室内扉とマッチしやすいカラーバリエーションの天然木ドア部品「染竹(センダケ)」発売いたしました。概要は以下の通り。



「染竹(センダケ)」 建具用シリーズ 引手(長角・正角・丸)

<https://www.watomos.com/sendake.html>

記

- ①「竹」の特性を活かした、美しく均一性のある木目と天然木の手触り
- ②「染料」の特性を活かした、自然なカラーと仕上がり
- ③シンプルで飽きの来ない形状と室内ドアにマッチする 6 色展開

以上

また、新製品 染竹(センダケ)シリーズの発売を記念して、染竹(センダケ)のカラーチップサンプルを先着 300 名様に無料でご提供させていただくこととなりました。詳細は下記参照。



毎日触るから、天然木の手触りと温もりを

室内扉の引手・取手は金属製のものが多く使われ、木製品は種類も実績も少ないのが現状。耐久性や価格、意匠などの理由もありますが、製品開発上の大きな理由は「自然で均一な木調」が困難であることです。木製の積層合板製品は複数のメーカーが販売していますが、木目柄や質感がどうしても自然にならずカラーバリエーションも多くありません。そこで、BIDOOR（ビドール）は、「竹」と「染料」を組み合わせた新製品シリーズ「染竹（センダケ）」を開発いたしました。主な特長は以下の通り。

◆主な特長

①「竹」の特性を活かした、美しく均一性のある木目と天然木の手触り

竹材は従来の積層木より自然な木目（柄）が特長。工業用建材として生地を選別しており、天然木でもカラーが安定しています。更に、生地が染料とよく馴染み、安定した仕上がりを実現することができました。

②「染料」の特性を活かした、自然なカラーと仕上がり

染料は水溶性で生地素材の表面に浸透し、生地が持つ木質繊維の風合いを活かしたまま調色が可能。複数の染料の組み合わせによって、近代ドアにマッチする自然な木目色を実現することができました。

③シンプルで飽きの来ない形状と室内ドアにマッチする6色展開

引戸用の引手にはオーソドックスな長方形と丸形、正方形を、開戸用の取手には握り易くシャープな印象のスリムアーチ形状をそれぞれ採用。カラーは現代扉によくマッチする6色展開。長くご利用いただけるよう、シンプルで飽きの来ないラインナップをご用意いたしました。

◆仕様

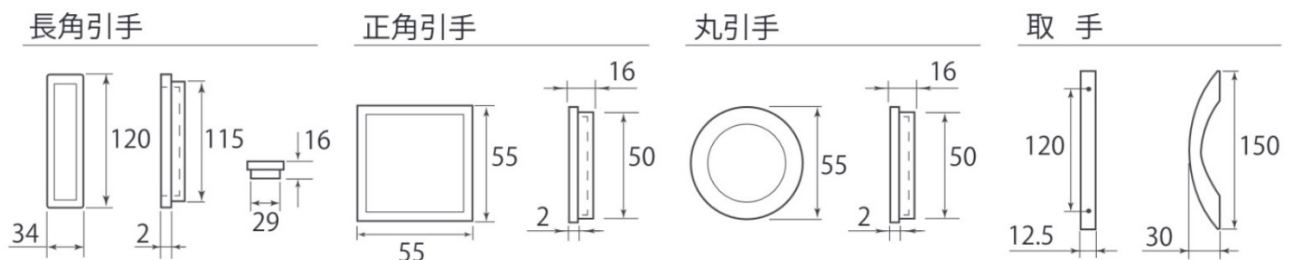
- ・名 称 : 染竹(センダケ)
 - ・生産地 : 日本
 - ・材 質 : 竹材(F☆☆☆☆)
 - ・仕上げ : 染料(F☆☆☆☆)
- カラーの種類(複数の染料の組み合わせによる色の呼び名)

- ①白木染
- ②ヒノキ染
- ③タモ染
- ④チーク染
- ⑤ウォールナット染
- ⑥黒檀染

・サイズ :

建具用シリーズ

長方形	: 外寸 : 120×34	裏寸 : 115× 2	全高 : 16	表厚 : 2
正方形	: 外寸 : 55×55	裏寸 : 50×50	全高 : 16	表厚 : 2
丸 形	: 外寸 : 55 φ	裏寸 : 50 φ	全高 : 16	表厚 : 2
取 手	: 外寸 : 150×12.5	ピッチ : 120	全高 : 30	表厚 : 2
付属ビス M4x40 (戸厚 33mm用)				



襖用シリーズ

二寸丸 大	: 外寸 : 64.5 φ	裏寸 : 60 φ	全高 : 10	表厚 : 2
二寸丸 中	: 外寸 : 48.5 φ	裏寸 : 42.5 φ	全高 : 10	表厚 : 2
片チリ角 大	: 外寸 : 65×65	裏寸 : 60×60	全高 : 10	表厚 : 2
片チリ角 中	: 外寸 : 45×45	裏寸 : 40×40	全高 : 10	表厚 : 2
スリムアーチ取手 大	: 外寸 : 125×12.5	ピッチ : 92	全高 : 30	表厚 : 2
付属ビス M4x25				
スリムアーチ取手 小	: 外寸 : 110×12	ピッチ : 76	全高 : 30	表厚 : 2
付属ビス M4x25				

◆染竹シリーズ 全サイズ表 PDF ダウンロード

http://www.bidoor.co.jp/bidoor/wp/pdf/sendake_size.pdf

・価 格：

建具用シリーズ(箱入数 20 個)

長方形	箱価格：@¥1,950-	バラ価格：@¥2,550-
正方形	箱価格：@¥1,850-	バラ価格：@¥2,400-
丸 形	箱価格：@¥1,800-	バラ価格：@¥2,350-
取 手	箱価格：@¥1,900-	バラ価格：@¥2,450-

襖用シリーズ(箱入数 20 個)

二寸丸 大	箱価格：@¥1,300-	バラ価格：@¥1,700-
二寸丸 中	箱価格：@¥1,200-	バラ価格：@¥1,600-
片チリ角 大	箱価格：@¥1,900-	バラ価格：@¥1,950-
片チリ角 中	箱価格：@¥1,350-	バラ価格：@¥1,800-
スリムアーチ取手 大	箱価格：@¥1,700-	バラ価格：@¥2,200-
スリムアーチ取手 小	箱価格：@¥1,550-	バラ価格：@¥2,000-

・設置法： 接着材止（取手は裏ビス止）

◆ご使用上の注意点

注1. 表面破損防止の為、施工時・使用時には以下のような事項にご注意下さい。

- ・ テープなど粘着性のある物の貼り付け
- ・ 本体への摩擦、衝撃
- ・ 化学物質、水分、塩分(大気中も含む)などの付着

注2. お手入れは柔らかい布類での乾拭きで行って下さい。

注3. 釘穴無し製品を取り付ける際は下記をお守り下さい。

- ・ 必ず材質に適した接着剤をご使用下さい。
- ・ 取り付け穴の加工は必ず製品実寸をご確認の上、行って下さい。

注4. 生地と仕上げカラーが同系色のため、長期使用時の摩耗痕が目立ちにくい仕様ですが、金属製品と比べると強度は低くなります。使用頻度の高い場合は金属製品をお選びください。

注5. 丸型引手の場合は側面周囲、角型引手は上下左右の側面に接着剤をつけて下さい。
（「裏底塗り」や「点着け」は変形要因となります）

注6. 取り付け穴の加工は必ず製品実物の実寸をご確認の上、行って下さい。

◆竹材の特長



・カラーの安定性

竹材は従来の積層木より自然な木目(柄)が特長。工業用建材として生地を選別しており、天然木でもカラーが安定しています。更に、生地が染料とよく馴染み、安定した仕上がりを実現することができました(※1)。

・材質の耐久性

竹の断面はレース車などに使われる強化プラスチック FRP と同じ役割の構造組織。耐久性、弾力性、低伸縮性にも優れた建築素材です(※2)。

・抗菌効果

竹は抗菌効果を持つ植物として古くから良く知られており、本製品にはさらに抗菌効果の威力を発揮できるよう、特殊加工を施しています(※3)。

・ホルムアルデヒド

本製品に使用している竹材と染料は、共にホルムアルデヒドの放出量 0 (F☆☆☆☆規格同等品)。シックハウス問題にも対応しています(※4)。

※1. 材質を選定しているため従来の積層木よりカラーは安定していますが採取時期や生育環境によって木目柄や色が多少異なる場合があります。

※2. 染竹シリーズ 取手の荷重試験 1kN(=102 キログラムフォース)で破損は認められない(地方独立行政法人 大阪産業技術研究所調べ)。

※3. 使用生地材には優れた抗菌・消臭効果があります(京都微生物研究所・日本食品分析センター試験試験概要:JIS Z 2801 : 2000 「抗菌加工製品 - 抗菌性試験方法・抗菌効果」5.2)。

※4. 集成接着剤・仕上げ塗装は国産品を使用しています。

◆表面仕上げの特長



・豊かな調色表現

染料は水溶性で生地素材の表面に浸透し、生地が持つ木質繊維の風合いを活かしたまま調色が可能。しかし、近代ドアによく使われるカラーに調色するには、色分かれがなく安定した発色の染料が必要でした。微妙な中間色を表現するために染料を複数組み合わせ、近代ドアにマッチする自然な木目色 6 種類を実現することができました。

①白木染(Plain Wood)

薄く木目のある白木仕立て。自然派の清潔感と優しさを演出します。

②ヒノキ染(Hinoki)

高級木の檜(ヒノキ)をイメージしたカラー。インテリアにも馴染んで和みます。

③タモ染(Tamo)

家具や建具に多く利用されるタモカラー。使いやすく合わせやすい。

④チーク染(Teak)

世界 3 大銘木のチーク色。高級家具にも多く使われ、お洒落な演出が可能です。

⑤ウォールナット染(Walnut)

高級家具や工芸品に使用されるウォールナット色。シック上品に馴染みます。

⑥黒檀染(Ebony)

薄く木目があり、重厚感のある黒檀色。クールな演出も可能です。

・なめらかな手触り

表面が自然でキメ細やかになるよう、シーラー材(目止め材)と複数回の研磨を施しています。丁寧な仕上げを行うことで、なめらかでナチュラルな手触りを実現することができました(当社比)。

・染料の安全性

本製品に使用している染料は、ホルムアルデヒドの放出量 0(F☆☆☆☆規格同等品)。シックハウス問題にも対応しています。

・表面の耐久性

染料は生地素材全体をではなく、表面部分に浸透し調色します。長期的に頻繁に使用すると、表面が摩耗することがありますが、生地と仕上げカラーが同系色で統一しているため、長期使用時でも摩耗跡が目立ちにくい仕様となります(当社比)。

材質が天然木の為、金属製品と比べると表面強度は低くなります。強い衝撃に弱い為、使用頻度の高い場合は金属製品をお選びください。

◆形状の特長



・スッキリ形状

四角形の製品が美しく見える秘密は手掛かり部(内側)の垂直ライン。一般的な木製ドア引手の場合、内側四隅が角丸形状のものが多いですが、木製襖引手の弊社標準仕様である「かぶせ接ぎ」を採用しているため、四隅ラインが垂直となり、スッキリとして美しいフォルムになりました。

・和を感じる要因

①かぶせ接ぎ効果

旧来からある角形木製襖引手は、手のかかる内側部分を角ノミ等で彫り込んで製作していました。同じ形状を工業製品として製作する為に弊社で採用しているのが「かぶせ接ぎ」です。かぶせ接ぎは天地から部品をかぶせるようにして本体に装着する為、継ぎ目が見えにくく、角ノミ製作法と同様にフチ部分(覆輪/ふくりん)に細くて垂直なシルエットを作り出すことができます。かぶせ接ぎ加工によって、本製品の角形シリーズが木製襖引手を彷彿とさせ、「和」を感じる要因になっていると考えられます。

②縦横比等倍の効果

和風に見える秘密は縦横比1:1で5~6cmの形状。江戸時代以前の日本の平均身長は160cmで襖の高さは180~190cm程度。襖を開閉する為の引手(穴)は、直径5~6cmで縦横比が1:1形状のものが多く見られました。縦横比1:1形状に「和」を感じるのは、旧来から目にする襖引手の形状や襖と引手のバランスの印象が、長い時間をかけて我々の中で固定化された為だと言われています。

・深形・裏面 R 加工のメリット

天井まである大型扉にも、重たい扉にも対応するため、手掛かりの深さを出来るだけ深く調整した全高 16mm(掘込深 14mm)の超深形。また、装着時の引手穴も NC などを使った 6mm ルーターで装着しやすい裏面R加工(※5)。マンション、集合住宅などの量産扉にもご利用いただきやすい仕様です。

※5. 裏面は角落としの R 加工となります。

◆工業製品の天然木引手（ハンドル）が抱える問題点

引手は形状的には小さいものの、ドアやインテリアの印象を変えてしまうほど特徴的な部品（用具）です。特に天然木の引手は手触りや見た目の美しさがあり、自然な素材感が魅力。しかし、採取時期や生育環境によって色・柄（木目など）が異なる為、生産メーカーにとっては歩留まりが安定せず、品質を保つには素材の選別に多くの時間が必要で、生産コストが読みにくい製品でもあります。その為、旧来から天然木引手は工業製品には不向きと言われており、多くの部品メーカーが製造しなかった理由にもなっています（※6）。

◆木製引手「色と柄」の対処法と残る課題

「木合板（積層合板など）」を利用する方法の場合、色・柄が安定し手触りの木質感はありますが、合板特有の直線的な印象が残り、自然な木の印象はありません。また、積層合板は生地色のバリエーションが少ない為、製品ラインナップを作りにくいのが現状です。一方で表面処理ですが、木製品で一般的に使われる「ウレタン塗装」は安定的な調色が可能でコストも安いですが、素材感（木質繊維の質感）が損なわれ、どうしても自然な風合いで仕上がりにません。

◆「色と柄」両方の課題を解決する方法

ある程度「柄と色」の品質を保ちながら、質感の美しさを損なわない方法…それは「竹材」と「染料」の組み合わせだったのです。

・安定色と自然な木目

竹材（※7）は従来の積層木よりも生地色が豊富で、より自然な木目（柄）が特長。工業用建材としてカラー別に生地が選別されており、天然木でもカラーが安定しています。更に、生地が染料とよく馴染み、安定した仕上がりを実現することができました（当社比）。

・素材を活かした調色

染料は水溶性で生地素材の表面に浸透します（※8）。塗装ではなく、「染める」ことによって生地が持つ木質繊維の風合いを活かしたまま調色が可能。複数の染料の組み合わせによって、近代ドアにマッチする自然な木目色を実現することができました（当社比）。

竹材は建築資材として以前からあり、弊社も別製品として販売も行ってきましたが、染料との組み合わせによって、今まで課題であった自然なカラーと木目を、ある程度解決できたことを嬉しく思います。本製品を「和風」と見るか？「洋風」と見るか？は、ご使用される方の感性よるところではありますが、ひとまず、製作工数の改良や細かい調整をしていただいた製作チームや商品部、その他アイデアを形にいただいた関係者の皆様に感謝いたします。

- ※6. 「ドア」は工業製品としてシビアな規定や規格が多く存在するため、品質の不安定な天然木（無垢材）引手はあまり生産されませんでしたが、比較的規定が緩い「襖」には天然木引手が広く普及しています。
- ※7. 竹は生命力が強く、成竹になるまでに約 5 年と他の木材に比べて成長が非常に早い為、資源枯渇に影響が少なく、地球環境に優しい材質と言われています（採取時期や生育環境によって木目柄や色が多少異なる場合があります）。
- ※8. 生地材質は仕上がりカラーを同系色で使用しているため、長期的に頻繁に使用し、万が一、表面木質が削れてしまった場合でも、摩耗跡が目立ちにくい仕様となります（当社比）。

◆その他の注意事項

- この製品は、一般住宅室内以外の用途でご使用にならないで下さい。
- カタログや WEB 上の写真と実物はロットや素材（特に木製品）によって、色や柄が多少異なる場合があります。
- 転売される場合でも、各製品の注意事項を守ってご利用下さい。
- 内容は、2019 年 6 月現在の物です。
- 特に明記していない限り、寸法の単位は全てミリメートル（mm）です。
- 在庫管理を徹底し、品切れの起こらないように努力しておりますが、注文が一時的に集中する場合は、やむを得ず品切れになる製品もあります。

◆染竹シリーズ専用 WEB ページ（スマホ・PC 専用レイアウト自動判別）

<https://www.watomos.com/sendake.html>

◆染竹シリーズ リーフレット PDF のダウンロード（無料）

<http://www.bidoor.co.jp/bidoor/pdf2/sendake.pdf>

◆ワトモスコンセプト WEB ページ（スマホ・PC 専用レイアウト自動判別）

<https://www.watomos.com>

◆BIDOOR（ビドー） コーポレート・メッセージ

BIDOOR（ビドー）ではインテリアの中の「和」在り方を、小さな装飾部品の側面から模索する「ワトモス（洋室に和を灯す）」活動を行っています。今回はその一環で、現代扉にマッチする天然木部品（引手・取手）をテーマに商品開発を行いました。

BIDOOR（ビドー）はおかげさまで創業 100 年を超えることができました。起源は江戸時代までさかのぼり、もとは京都で大名公家に出入りを許されていた飾り金物職人でした。主に刀の鐔（ツバ）製作を行っておいりましたので、現代的に言えば「刀剣・金属装飾を手がける技術・デザイン集団」…、と言ったところでしょうか。明治以降は「襖引手」などの装飾金物の製作を経て、現在は建築・家具金物、中でも室内インテリアに関する金物類の企画・製作・販売を行っています。

近年、住まいの空間設計にシンプルスタイルが好まれる傾向が高まってきております。室内装飾の考え方は様々ありますが、中でも室内建具のデザインは、部屋の印象に関わり、建築金物は部品でありながらイメージの重要ポイントとなることもあります。飽きのこない素朴で美しいもの。現代のインテリアとマッチしながら、ちょっとおしゃれで綺麗なもの。BIDOOR（ビドー）はそんな製品を今後も創って行きたいと考えています。

◆お問い合わせ

株式会社 ビドー （インテリア金物ブランド BIDOOR(ビドー)運営元)

〒537-0014 大阪市東成区大今里西 1-25-4

TEL : (06)6972-3824(代) FAX : (06)6974-3865(代)

広報担当 : 長野孝豊

BIDOOR(ビドー)WEB サイト <http://www.bidoor.co.jp/>
お問い合わせメールアドレス info@bidoor.co.jp